



# 第九回東日本（第一連区）仏教壮年大会

## 並びに仏教壮年会セミナーを終えて

新潟教区仏教壮年会連盟理事長 平澤 茂則

日時 九月二十八日（土）十三時三十分～十七時

会場 本願寺新潟別院（参加者百三十七名）

テーマ 「ともに聞きまことのよろこびを伝えよう」仏教壮年会活動の普及に向けて」

講師 仏教壮年会連盟講師・安芸教区妙蓮寺住職 高橋 哲了さん

奈良教区光明寺住職 三浦 明利さん

令和元年九月二十八日、新潟別院を会場に、標記の大会（第一連区で三年に一回開催）と第一連区で毎年持ち回りの「仏教壮年会セミナー」を併せて開催しました。本来は別の大会ですが、東日本の各所から年内に二回も新潟教区においていただくのは参加される方々の負担が大きいことを考慮して併催としました。

『ともに聞きまことのよろこびを伝えよう』をテーマに北海道・東北・東京・長野・国府教区から地元新潟教区の遠近を合わせ百三十七名の参加を得て盛大に開催することができました。

セミナーの記念講演は仏教連盟講師の高橋哲了さんから『仏教活動の普及に向けて』のテーマで、資料を駆使した内容の厚いお話をいただきました。第一連区の教区活動報告のち休憩をはきみ、後半の東日本仏壮大会として、三浦明利さんの音楽法話『いのちのともしび』オリジナル曲を澄んだ歌声でしっとり軽やかに披露していただきました。三年後の北海道教区での開催を決定し終了となり、懇親会は長岡グランドホテルに会場を移し、和気あいあいと大会の余韻に浸っていたことができました。

ご協力・ご参加いただいた皆様、準備に当たっていただいた事務局に感謝いたします。ありがとうございました。



新潟教区門徒総代研修会に参加して

巻組西念寺住職 鈴木一生

日時 十月三十一日(木) 十三時〜十七時  
 会場 岩室温泉「ゆもとや」(参加者九十七名)  
 テーマ 『念仏者の生き方と社会問題』  
 講師 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員 岡崎 秀麿さん



研修会ではご講師の岡崎秀麿さんから、様々なことに関心をもつことの必要性を教えてください、そして、班別話し合いで参加者それぞれが関心を持つ社会問題への思いを聞くことで、新たな視野に気づかせていただいたことでした。

ところで皆さんは「三〇・一〇(サンマルイチマル)運動」をご存じでしょうか？

①最初の三十分はすぐに席を立たずにしっかりと料理を食べること、最後の十分で、自席に戻り料理のお残しが無いように食べる、宴会での食品廃棄の削減につながる運動を今回の懇親会で実践してみました。やはり、参加者にも認知度がまだ低かったので周知する良い機会ではありましたが、お酒で気分が良くなってきたら、このことをすっかり忘れてしまう方も大勢・・・やはり、こういった運動は継続が重要となるのですね！

そして、懇親会の場で巻組ご縁づくり部会が制作した『てらんぷ』を紹介しました。これは、「ご家庭等でご縁を育む教材」として考案した仏教トランプで、【漫画家 鈴木いこさん】(長法寺若坊守)に

あみだ様やしんらん様などのイラストを描いてもらい、全てのカードが絵柄の珍しき・優しいイラストで、つつい手にしてしまふところから仏教を身近に、新たに学べるトランプです。(ご希望の方は西念寺まで。一個1,000円)



研修会の様子と『てらんぷ』

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年についての

ご消息披露 総局巡回・公聴会報告

日時 九月六日(金) 十三時〜十六時三十分  
 会場 本願寺新潟別院(出席者四十一名)

第一部の式典では池田行信総務から親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年についてのご消息披露と伝達が行われ、特命布教使の那須英信さんからご法話をいただきました。

第二部の公聴会では①『子どもたちの笑顔のために募金』のお願いについて支援先や集まった金額、②『親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要の意義』について趣意書策定の経緯と要点、③『得度式規程』『教師規程』『布教使課程設置規程』の制定について現在の状況と今後のシステムについての三点の報告がありました。

その後『賦課基準の見直し』について、これまでの経過と専門部会の答申の要点、解散・合併や各寺院間における不公平感にかかる護持口数の変更案の説明、『僧侶育成体系プロジェクト(住職・坊守)』について、現時点の方向性案である住職の研修のあり方、坊守のサポート体制についての説明の後、協議会となりました。

親鸞聖人御誕生八五〇年 慶讃法要 立教開宗八〇〇年

- 【法要期日】 二〇二三(令和五年)年
- 第一期 三月二十九日(水)〜四月三日(月)
  - 第二期 四月十日(月)〜四月十五日(土)
  - 第三期 四月二十四日(月)〜四月二十九日(土)
  - 第四期 五月六日(土)〜五月十一日(木)
  - 第五期 五月十六日(火)〜五月二十一日(日)

僧侶・門徒を問わず、出席者からは住職・僧侶の現状について厳しい意見が出るなど、研修体制の充実・僧侶の将来像・僧侶育成に関して活発な提言・意見交換がなされました。

# 法話 「キラキラと阿弥陀様」

巻組一心寺住職 田子 祐子

亡き父の跡を継ぎ、慣れない仕事でストレスフルになっていた私を救ってくれたのは、新潟公演に来た宝塚歌劇でした。あれから宝塚は私に、努力の大切さ、最後まで諦めない心等、色々教えてくれました。

宝塚の舞台は、台詞の多さ、立ち位置、登場順、衣装の派手さ加減で、どのタカラジェンヌがどういう立場か一目で分かっています。又、男役と娘役の扱われ方にも差があります。百年以上続く宝塚は大方の歴史ある組織と同様、慣習という鎖に縛られてもいます。ですが観ていると中には、舞台の端や一番後ろにいなながらも、キラキラオーラが出ている様な、目を引く人がいるのです。

ある男役の方が「大事なのは役の大きさじゃない、自分がどれだけその役に懸けるかだ」と仰ってました。目から鱗でした。その人は、厳しいスターの序列の世界に生きていながら、序列で自分の価値を決めてはいないのです。人と比較して安心したり、見下す価値観の世界には住んでいないのです。

『仏説阿弥陀経』の一説に「池の中の蓮華は大きさ車輪のごとし。青色には青光、黄色には黄光、赤色には赤光、白色には白光ありて、微妙香潔なり」とお浄土の様子が表されていますが、そうなのです、そもそも各々が異なるのです。そして各々が無心に咲いています。人間もそうです。「脇役」という人間はいません。本当は「主役すらいないのではないのでしょうか。他と比較せず、その時の自分を尽くす—これに尽きるのだと。」

ひたむきなタカラジェンヌの姿を通して、阿弥陀様からまた一つ、大切な事を教わりました。



## 第十六回世界仏教婦人会大会に参加して

巻組専光寺住職 岡本 千賀子

日時 八月三十日(金)〜九月五日(木)  
会場 サンフランシスコ市マリ奥特・マーキース(教区内参加者七名)  
テーマ 『お念仏に生かされて 「Live The Nembutsu」』

時差がマイナス六時間、フライト時間が十時間のアメリカはカリフォルニア州のサンフランシスコへ行くまで不安だらけの私であった。四年ごとに、北米・南米・カナダ・ハワイで開催される世界仏教婦人会に参加するのは長年の夢と憧れだし、年齢的に最後のチャンスだと思った。

予想通りハプニング続出の珍道中で、周りの皆さんに助けられ無事に帰国することができた。まさに大会のテーマであるリブザ念仏(お念仏に生かされて)の心境であった。

見ると聞くとは大違い、今回の体験は一生の宝である。特に、言語・風土・習慣の違う土地で努力し、国境・民族・言語の壁を超えてたくましく生きる日系人の人達の素晴らしさ!

その日系人も四世の時代である。私の英語もほとんど通じなかったが「日本人の会話は謝罪で始まるがアメリカ人はジョークで始まる」と言われるように陽気で大らか。また同時に母国日本の良さを認識する株でもあった。



東北・長野・国府・新潟 4教区参加者の集合写真



# 寺院巡り

## 新潟組 浄光寺

住所 新潟市中央区西堀通一〇―一六一八  
電話 〇二五―二二九―〇六二九

父である前任職から住職の職を引き継いで丸六年。私で第二十七代目となります。

寺伝では、九一四年には蒲原津に弘法大師創立の放光院愛宕権現があったとあります。一二〇二年に印信法印が京都西山より別当として来住。

一二二二年、親鸞聖人が越後ご流罪の折一夜の宿を請われ、その夜住職印信と法論の末、「浄土の教えが真言の教えよりも優れていけば竹杖より逆竹が生ず」と言い残し竹杖を地に刺して去られます。後日竹杖より逆竹が生じ、印信は常念坊法爾と改名し、放光院を「鳥屋野院」と改めて聖人のお弟子となりました。

一二二一年、順徳天皇は北狩の折に当寺に御幸され、法爾の弥陀の本願報土往生の法話に涙あそばれ一夜を明かし、御念持仏の阿弥陀如来尊像を御寄進されました。そして、勅命を下され、寺号を「金波山鳥屋野院浄光寺」として勅願所となりました。

一四四九年には蓮如上人が御開祖の御跡を慕い御下向され、「はるばると越路に祖師の跡とへば涙に染むる紫の竹」の御歌を残されます。それ以降歴代門主の御下向が続きました。

一六七一年、度々の水害の為、鳥屋野に堂宇を残し（現西方寺）現在地へ移転。その後幾度も火災で本堂を焼失し、現在の本堂は一九三九年（昭和十二年）に建てられ、平成六年から九年にかけて大改修が行われました。



浄光寺本堂

ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 八〇.七 毎週月曜〜金曜 十六時十五分よりの放送中です。  
（放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附）

### 令和元年台風十九号 被害報告

台風十九号により被災された皆さまに衷心よりお見舞い申しあげますとともに、新潟教区内の被害状況を報告いたします。なお、他教区の被害状況については本願寺HP (<http://www.hongwanji.or.jp/>) にてご確認ください。

#### ○寺院被害 三カ寺（十月二十九日現在）

与板組常禅寺 強風・豪雨による庫裏雨漏り。  
与板組隆泉寺 強風・豪雨による本堂雨漏り。  
新潟組圓満寺 強風・豪雨による庫裏雨漏り。

#### ○門信徒被害 五カ寺（十月二十九日現在）

長岡組徳宗寺 十三件 床上浸水二件・床下浸水十一件  
長岡組渡里町西福寺 七件 床下浸水七件・その他農地等にも浸水被害  
長岡組西入寺 一件 床下浸水一件  
長岡組西楽寺 一件 床下浸水一件  
元上組光徳寺 一件 床上浸水一件・自家用車水没

この災害に対して

山口教区教務所(災害対策委員会)様  
備後教区教務所(災害対策委員会)様  
からお見舞金を頂戴いたしました。この場を借りて御礼申しあげます。

#### 今後の予定(会場記載がないものは新潟別院で行います)

- ・新潟別院除夜会・元旦会  
日時 令和元年十二月三十一日(火) 二十三時〜除夜会  
令和二年一月一日(水) 七時〜元旦会
- ・真宗教団連合新潟県支部寺院研修会  
日時 一月二十一日(火) 十四時〜十六時三十分  
会場 セレモニーホール飛燕
- ・連研履修者研修会  
日時 二月二十四日(月)  
講師・テーマともに未定
- ・真宗教団連合公開講演会  
日時 三月十二日(木)  
会場・テーマ・講師ともに未定

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会  
〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内  
TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六